もっと知りたい 福生の歴史(1)

福生市のことをより知ってもらえるように、いくつかテーマをしぼって取り上げています。

福生を走る鉄道(1)

JR青梅線(旧青梅鉄道)

現在のJR青梅線の前身は、私鉄の青梅 鉄道で、明治27年(1894)に開通し ました。開業当初は立川から青梅までで、 途中駅は終点の立川、青梅のほかに拝島、 福生、羽村、小作の計6駅がありました。

開業当初の青梅鉄道は、軽便鉄道といって、現在よりも線路の幅が狭いものでした。 青梅で採れた石灰を運ぶために、中央線の 前身である私鉄の甲武鉄道に接続する立 川まで運転していましたが、甲武鉄道は現 在の青梅線と同じ幅の線路を使っていた ので、直接乗り入れることができず、立川 で荷物の詰め替えが必要でした。そのため、 明治41年(1908)に青梅鉄道も現在 と同じ線路の幅に変更となります。

青梅鉄道が電化されたのは大正12年 (1923)で、昭和4年(1929)に 青梅電気鉄道へ改称しました。複線化事業 は順次進められ、昭和18年(1943)



青梅鉄道の2号機関車(英国バグナル社製) (明治36年 現在の福生第一中学校付近)



オレンジ色の車両が導入される以前の青梅線 (昭和36年 福生―牛浜間)

に立川一中神間が、昭和21年(1946)には中神一拝島間が、昭和36年(1961)には拝島一福生間、福生一小作間が、昭和37年(1962)には小作一東青梅間が複線化されました。



「青梅線開業 88 周年記念入場券」 (昭和 57 年 11 月 19 日発売) 開業当初の 6 駅の入場券がセットになっている。

青梅から先は順次延長され、昭和4年 (1929)には御嶽まで延伸しました。 戦時中、全国的に各地の私鉄が買収され国 有化されましたが、青梅電気鉄道も昭和1 9年(1944)に国有化され、国鉄青梅 線となりました。国有化後に御嶽から現在 の奥多摩までの区間が完成しました。

昭和62年(1987)には国鉄が民営化され、JR青梅線となりました。また、平成10年(1998)には、当初の目的であった石灰石輸送が廃止となりました。

発行・問合せ 福生市郷土資料室(O42-53O-112O)

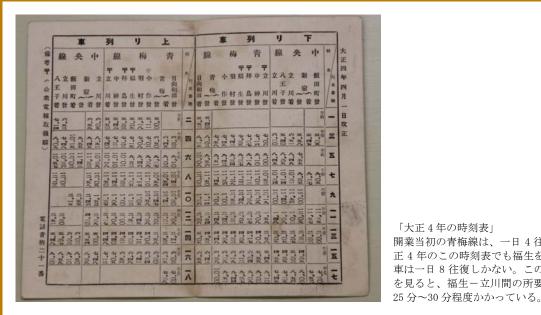
福生市熊川850-1(中央図書館内) 開館時間10:00~17:00

※月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

http://www.museum.fussa.tokyo.jp/

もっと知りたい 福生の歴史(1)

福生市のことをより知ってもらえるように、いくつかテーマをしぼって取り上げています。



「大正4年の時刻表」 開業当初の青梅線は、一日4往復。大 正 4 年のこの時刻表でも福生を通る列 車は一日8往復しかない。この時刻表 を見ると、福生-立川間の所要時間は



複線化された当時の福生駅。市街地は多摩川沿いであっ たため、改札口やホームは西口側にだけあった。単線時 代の旧ホームは、現在の福生駅でも見ることができる。 (昭和36年頃 福生駅)



福生駅東口の開設は、福生駅ができてから 57年後の昭和26年だった。 (昭和26年 福生駅東口)



牛浜駅は、青梅線では一番新しくできた駅。戦時中 の昭和18年、当時の陸軍多摩飛行場に近かったた め、軍の要請によって仮停留所として開設し、昭和 19年の国有化とともに駅として開業した。 (昭和35年 牛浜駅)



牛浜駅は、昭和 36 年の拝島―福生間の複線化に合わ せ、青梅線で一番初めに橋の上に改札口のある橋上駅 舎が完成した。平成24年には国体の開催に向けて、バ リアフリー対応の新しい駅舎での運用が始まった。 (昭和36年 牛浜駅)

発行・問合せ 福生市郷土資料室(042-530-1120)

福生市熊川850-1(中央図書館内) 開館時間 10:00~17:00

※月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌火曜日) http://www.museum.fussa.tokyo.jp/